

4 死因分析

(1) 死因別死亡確率

人はいずれ何らかの死因で死亡することになるが、生命表上で、ある年齢の者が将来どの死因で死亡するかを計算し、確率の形で表したものが死因別死亡確率である。

平成24年の死因別死亡確率をみると、0歳では男女とも悪性新生物が最も高く、次いで、男は心疾患、肺炎、脳血管疾患、女は心疾患、脳血管疾患、肺炎の順になっている。65歳では0歳に比べ悪性新生物の死亡確率が低く、他の死因の死亡確率が高くなっており、75歳では更にこの傾向が強くなっている。一方、90歳では男女とも脳血管疾患の死亡確率が75歳より低くなっている。

悪性新生物、心疾患及び脳血管疾患の合計の死亡確率は、男で0歳、65歳、75歳で5割を超えているが、女では0歳、65歳、75歳、90歳のすべての年齢で5割を下回っている。

前年と比較すると、悪性新生物の死亡確率は、0歳、65歳、75歳の男女及び90歳の男で上昇している。一方、心疾患の死亡確率は、90歳の男女及び65歳、75歳の女で低下しており、脳血管疾患及び肺炎の各死亡確率は、男女とも0歳、65歳、75歳、90歳のすべての年齢で低下している。(図4、表7)

図4 死因別死亡確率（主要死因）

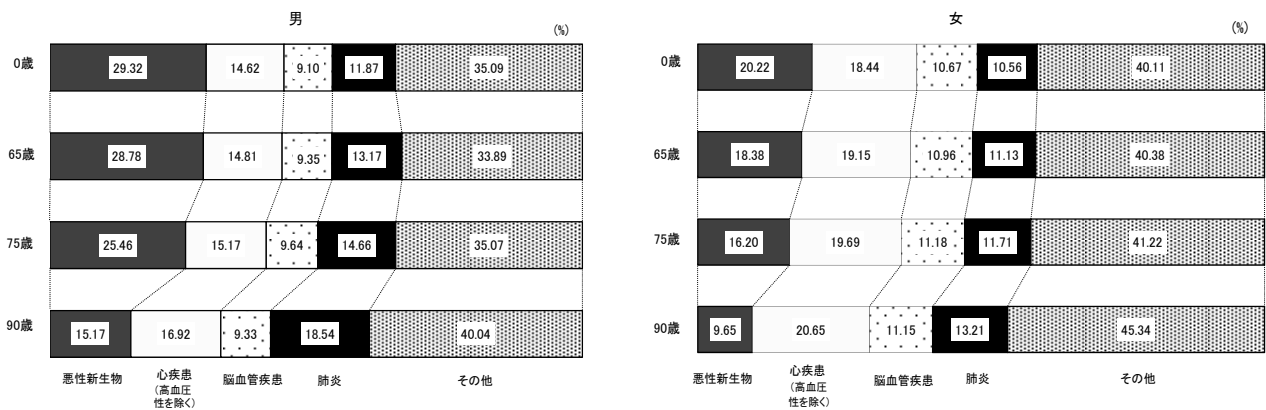


表7 死因別死亡確率（主要死因）の推移（0歳・65歳・75歳・90歳）

主要死因	年齢	男					女				
		平成20年	21年	22年	23年	24年	平成20年	21年	22年	23年	24年
悪性新生物	0歳	29.98	29.90	29.76	29.10	29.32	20.49	20.63	20.53	20.05	20.22
	65歳	29.39	29.40	29.30	28.71	28.78	18.61	18.82	18.68	18.30	18.38
	75歳	25.94	26.12	26.04	25.44	25.46	16.39	16.63	16.50	16.16	16.20
	90歳	14.91	15.50	15.32	15.08	15.17	9.74	9.96	9.97	9.69	9.65
心疾患 (高血圧性を除く)	0歳	14.74	14.68	14.54	14.41	14.62	19.13	19.09	18.93	18.36	18.44
	65歳	15.00	14.93	14.81	14.67	14.81	19.93	19.87	19.72	19.21	19.15
	75歳	15.43	15.37	15.20	15.10	15.17	20.52	20.47	20.33	19.83	19.69
	90歳	17.41	17.25	17.19	17.09	16.92	21.51	21.53	21.34	20.90	20.65
脳血管疾患	0歳	10.42	10.08	9.77	9.32	9.10	12.75	12.11	11.50	11.04	10.67
	65歳	10.83	10.44	10.10	9.66	9.35	13.13	12.45	11.82	11.40	10.96
	75歳	11.24	10.79	10.44	9.98	9.64	13.45	12.73	12.08	11.67	11.18
	90歳	11.03	10.79	10.24	9.84	9.33	13.46	12.57	12.04	11.70	11.15
肺炎	0歳	12.50	12.20	12.13	12.04	11.87	11.74	11.35	11.19	10.91	10.56
	65歳	14.06	13.72	13.58	13.48	13.17	12.43	11.99	11.82	11.57	11.13
	75歳	15.85	15.39	15.22	15.09	14.66	13.13	12.65	12.45	12.21	11.71
	90歳	21.00	20.07	19.77	19.52	18.54	15.33	14.68	14.38	14.03	13.21
悪性新生物、 心疾患及び 脳血管疾患 (再掲)	0歳	55.14	54.65	54.07	52.83	53.04	52.36	51.84	50.97	49.45	49.32
	65歳	55.22	54.77	54.20	53.04	52.94	51.67	51.13	50.22	48.91	48.49
	75歳	52.61	52.28	51.68	50.52	50.27	50.35	49.82	48.92	47.65	47.07
	90歳	43.35	43.54	42.75	42.00	41.41	44.70	44.06	43.36	42.29	41.45

注：平成22年は完全生命表による。

(2) 特定死因を除去した場合の平均余命の伸び

ある死因が克服された場合、その死因によって死亡していた者は、その死亡年齢以後に他の死因で死亡することになる。その結果、死亡時期が繰り越され、平均余命が延びることになる。この伸びは、その死因のために失われた平均余命としてみることができ、これによって各死因がどの程度平均余命に影響しているかを測ることができる。

平成 24 年の特定死因を除去した場合の平均余命の伸びを主要死因についてみると、0 歳においては男女とも悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎の順、65 歳及び 75 歳においては男では悪性新生物、心疾患、肺炎、脳血管疾患、女では悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎の順になっている。一方、90 歳においては男では肺炎、心疾患、悪性新生物、脳血管疾患、女では心疾患、肺炎、脳血管疾患、悪性新生物の順になっており、悪性新生物の順位が低下している。

悪性新生物、心疾患及び脳血管疾患を除去した場合の伸びは、0 歳では男 7.37 年、女 6.17 年、65 歳では男 5.91 年、女 4.98 年、75 歳では男 4.45 年、女 4.13 年、90 歳では男 1.90 年、女 2.17 年となっている。(表 8)

表 8 特定死因を除去した場合の平均余命の伸び(主要死因)の推移(0 歳・65 歳・75 歳・90 歳)

(単位:年)

主要死因	年齢	男					女				
		平成20年	21年	22年	23年	24年	平成20年	21年	22年	23年	24年
悪性新生物	0歳	3.99	3.98	3.85	3.75	3.77	3.01	3.03	2.95	2.88	2.89
	65	3.09	3.11	3.00	2.93	2.95	2.03	2.07	1.99	1.94	1.95
	75	2.09	2.12	2.03	1.97	1.97	1.42	1.46	1.38	1.35	1.35
	90	0.59	0.63	0.56	0.55	0.56	0.45	0.48	0.43	0.41	0.41
心疾患 (高血圧性を除く)	0歳	1.54	1.55	1.48	1.46	1.48	1.64	1.65	1.53	1.47	1.47
	65	1.19	1.19	1.14	1.12	1.14	1.56	1.56	1.45	1.40	1.39
	75	1.01	1.02	0.96	0.94	0.95	1.47	1.48	1.37	1.32	1.31
	90	0.69	0.69	0.63	0.61	0.61	1.04	1.09	0.94	0.90	0.89
脳血管疾患	0歳	1.02	1.00	0.94	0.89	0.87	1.10	1.06	0.95	0.91	0.87
	65	0.84	0.82	0.76	0.72	0.70	1.00	0.96	0.85	0.82	0.78
	75	0.73	0.71	0.65	0.62	0.60	0.93	0.89	0.79	0.75	0.72
	90	0.41	0.41	0.35	0.34	0.32	0.61	0.59	0.50	0.47	0.45
肺炎	0歳	0.93	0.91	0.87	0.87	0.85	0.83	0.80	0.74	0.73	0.70
	65	0.97	0.95	0.90	0.89	0.87	0.83	0.81	0.74	0.73	0.70
	75	0.99	0.97	0.91	0.90	0.87	0.83	0.81	0.74	0.72	0.69
	90	0.86	0.83	0.74	0.72	0.68	0.70	0.69	0.59	0.57	0.53
悪性新生物、 心疾患及び 脳血管疾患	0歳	8.10	8.04	7.63	7.38	7.37	7.00	6.99	6.47	6.22	6.17
	65	6.51	6.48	6.13	5.93	5.91	5.75	5.75	5.25	5.04	4.98
	75	4.99	5.00	4.67	4.49	4.45	4.86	4.89	4.40	4.21	4.13
	90	2.24	2.30	2.00	1.93	1.90	2.72	2.78	2.34	2.22	2.17

注：平成 22 年は完全生命表による。